| | |
|---|---|
| **CLASSE :** | # 文法と文学<br># GLS-11L |
| **Jour :** | **Lundi** |
| **Horaires :** | **13:30-15:20** |
| **Niveau :** | **B2** |
| **M./Mme :** | **M. Takahiro KUNIEDA** |
| **Objectifs :** | 文法構造、文法項目を精緻に分析しながら、フランス語で小説を読む。 |
| **Descriptif :** | 20 世紀フランス文学を代表する作家の 1 人である Michel Tournier (1924-2016) の小説 *Gaspard, Melchior & Balthazar*（『ガスパール、メルキオールとバルタザール』1980）を読みます。様々な神話や寓話を巧みに解釈し、新たな小説作品を創作することに秀でたトゥルニエですが、本作では、聖書の「東方の三博士」を下敷きにして、想像力豊かな独自の文学世界を作り上げています。緻密に構成された小説の魅力を原文で味わっていきます。<br>文学テキストを読む楽しみは、確かに作者が描く世界に自らも入り込むことにあります。しかし、そこで用いられている言語そのものの正確な理解なしには作品世界の理解もありえません。この授業では、文法構造、文法項目をおろそかにせず、ひとつひとつ精緻に分析することで、作品世界をよりいっそう深く理解していくことを目的とします。<br>授業の構成：毎回 2 ページほど読みます。授業は講師が解説をし、受講者からの質問を受ける形式です。毎回 5〜6 人の方に、それぞれ 10 行ほどの訳の宿題を出します。担当になった人は、次回の授業の前日までに自分の訳を電子媒体で講師に送ります。次回の授業の冒頭で添削済みの訳文を配布し、前回の復習と日本語訳の確認をしてから、新しい箇所に入ります。 |
| **Matériel :** | テキストの PDF を配布 |
| **Remarques :** | 2026 年春学期から読み始めていますが、章ごとにある程度内容が独立しているので、途中からの参加でもまったく問題ありません。 |